

貯水量は通常の5倍！

市内初！200m³公設防火水槽が完成しました

岡村西公園（磯子区）の整備に合わせ、市内で初となる 200m³ 公設防火水槽を設置し、令和 3 年 4 月 1 日から使用開始しました。通常の大きさの防火水槽（40m³）と比較して 5 倍の貯水量があり、震災時等に消防隊や消防団が活用します。

■施設概要

設置場所 磯子区岡村四丁目 800 番 1 岡村西公園

防火水槽の特徴

岡村西公園周辺は地震火災時の消防水利不足地域に該当していましたが、鋼製 200m³ 大型防火水槽を整備することにより、当該地域の消防水利不足の解消を図りました。

地域の子どもたちが集まる公園に整備することから防災意識の向上に繋がるよう、当局マスコットキャラクター「ハマくん」をデザインした防火水槽の蓋を新たに作成しました。



■防火水槽の必要性について

横浜市の地震被害想定では、市内は広い範囲で震度 6 強以上となり、地震火災で 77,700 棟が全焼すると想定されており、地震火災対策に対する消防水利の整備は急務となっています。

当局では、延焼危険が高く、消防水利が不足している地域に対して、地震火災対策を推進するため、耐震性防火水槽などを整備し、震災時に有効な消防水利を確保していきます。

お問合せ先

消防局警防課担当課長 佐久間 栄吉 Tel 045-334-6751